

猿 橋
小学校

瑛玖良

瑛玖良校は明治期における
猿橋小の旧名。切磋琢磨の
意が込められている。

夏の記憶

校 長 磯部 裕之

私が小学校2～3年生の頃の思い出です。夏休みの地域子ども会の行事で花火大会をやることになりました。場所は、10分ほど歩いた先にある川の橋げたです。夜になって、川沿いの道を歩いていくと、道の両脇にはススキの穂がたくさん出ていました。もうお盆明けの時期だったのかもしれませんが。しばらく歩いていくと、ススキの間に黄色い光が動きました。よくよく見てみると、1匹のホタルでした。思わずしゃがんで、両手で捕まえると、ホタルは私の手の中で黄色い光を点滅させていました。あとから歩いてきた高学年の人に「逃がしてあげなよ」と言われ、ススキの中に逃がしました。ほんの1分くらいの出来事だと思いますが、花火大会そのものよりも、なぜかこの場面が印象に残っています。

この花火大会や海水浴、地引き網など夏の子ども会の行事と言えば、ほぼほぼ大人の役員の方たちが、私たち子どものために安全に配慮しながら準備してくれていたものでしたが、唯一、高学年の子どもたちにある程度任されていたのが「きもだめし」でした。自分たちでコースやルールを相談して決めていました。神社からお稲荷さんの祠（ほくら）まで、一人で歩いて行って、祠（ほくら）に置いてある紙に名前を書いて帰ってくるというコースの時もありましたし、ただただ、墓場の中を歩いて帰ってくるコースの時もありました。昼間と違って、夜、一人で歩いていくというのは、それなりに怖かったという記憶があります。子どもの頃の夏の記憶というものは、なぜか、鮮明に残るものなのかもしれません。



さあ、いよいよ夏休みが始まります。子どもたちが学校から家庭や地域に戻るこの夏休み。猿橋小学校の校区内の様子をお聞きしてみると、毎朝一生懸命にラジオ体操をしている地域もありますし、夏のお祭りなどを企画して、みんなで盛り上がっている地域もあります。安兵衛太鼓部の皆さんは、この夏も、各地のイベントで発表の予定が入っているようです。日頃の練習の成果を発揮して、きっと立派に発表してくれることでしょう。各種スポーツや習い事で頑張る人も多いことと思います。もしも地域のイベントや行事があれば、積極的に参加して、地域の一員として楽しんだり盛り上げたりして、心に残る夏休みにしてほしいと願っています。

1学期後半は本当に暑い毎日でしたが、子どもたちはよくがんばりました。保護者の皆様、地域の皆様のおかげで、無事に教育活動を終えることができました。本当にありがとうございました。この原稿を書いている3連休の間にも、水の事故のニュースが聞こえてきます。一人一人の子どもたちにとって安全で有意義な夏休みとなることを願っております。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

